

市としてどのように考えているのか。

答弁 昨年から経済危機に対して国を上げて、さまざまな交付金が自治体に配分されている。これによって地域経済、これを幾らかでも停滞を防ぐというところで、県及び自治体にも交付金が配分されてきている。交付金の一つは離

職者が発生している中で、次の安定した職につくまでの間の臨時的な雇用のための、交付金である。そして、もう一つは長期にわたっての地域経済を活性化させるための交付金である。早期にこれを活用して今後において迅速な対応をしていきたい。

新庁舎建設の方向性は

意見を集約し方向付けをしていきたい



浅利 則夫

質問 庁舎の建設については、角館交流センター付近とする市長試案が示されているが、具体的にどのような形で説明責任を果し、住民に對し理解を求めて行くのか。

あわせて、財政的な裏づけの提示も含め、新庁舎の必要性に関して明快

な説明が必要と思うがその考え方は。

答弁 仙北市の将来を見通し、庁舎建設は市にとっては大事な事業であることの認識のもと、職員の利便性という観点ではなく市全体に役立つ庁舎としてのあり方について議論し、結論を出していきたい。

質問 高校2校統合問題については、議会は「仙北市における高校教育の構想・計画を早急に策定し、秋田県教育委員会と協議をすべきである」との意見を示しているが今後どのように対



税の過少課税を指摘された国保会計

応していくのか。

答弁 現在2校あるものを1校にするということは、地域の子供達の選択肢を狭めることになるという観点で、県と協議を進めてきたが、県からは明快な回答を示されないまま現在に至っている。

県全体の中での北仙北地域の高校教育環境のあり方について、地域が求める教育環境ということも加味し、協議を進めてま

質問 会計検査員から指摘された旧角館

町国保会計の問題について、「国保税を過少課税。」との新聞報道もあるが、その事実。また、今後の対応については。

答弁 現在は、会計検査院からの指示を待っている状態である。会計検査院の判断が出たあとに、内容については指摘があればそれに沿って対応をしていく予定である。

書類整備・保管方法等については、今後検討して行く予定である。この件の一連の流れについては、検証し公表する

予定である。

国民健康保険及び後期高齢者医療の発行について、仙北市ではおおよそ100世帯に発行されているが、医療補償の観点からも資格証明書はすべて発行すべきではないと考えるが、市としての考えは。

質問 国民健康保険及び後期高齢者医療の発行について、仙北市ではおおよそ100世帯に発行されているが、医療補償の観点からも資格証明書はすべて発行すべきではないと考えるが、市としての考えは。

答弁 資格証明書の発行をゼロにするという考えは同感である。市としては、税金を滞納されている被保険者に対して、機械的に発行しているわけではない。事情を考慮し今後も対応していきたい。

市有施設への命名権の導入を

前向きに検討している



真崎 寿浩

質問 企業広告の活用についてはどうか。

- 市有施設へ広告の掲示
- 市有施設の命名権(ネーミングライツ)
- 内陸線の駅名の命名権について

市の財政が厳しい中、地域経済の活性化と財源確保のため要綱を整備し広告の募集はできるのか。

観光地としてイメージ的な部分にも強く影響を及ぼすのではないかと。例えば、野球場、体育館、市民会館、トイレ、バス停、市道については市道○○温泉線など。

答弁 市有施設へ広告の掲示や命名権については、市の財政を助ける一つの手段であり、実現へ向けてさらに突っ込んだ検討をしていく。

内陸線については、現在社内では、広告料を支払う企業にとって、表示するための看板、それに伴う社内アナウンス、そ